

倉吉市立小学校適正配置【社地区】説明会 概要

倉吉市教育委員会事務局

- 1 日 時 平成29年7月6日(木) 19時30分～21時10分
- 2 場 所 社公民館第2、3会議室ほか
- 3 出席者 住民、学校関係者：28名
市教委：教育長、宮近教育委員、仲田教育委員、事務局長、学校教育課長
指導主事 等
市長部局：企画振興部次長兼総合政策課長

4 概要

- (1) 教育長あいさつ
 - (2) 資料説明(学校教育課長)
 - (3) 適正配置に関する課題と対策について(グループ協議)
- ※「将来のくらし【社地区】を考える」を記載後、2グループで話し合いを行った。

【話し合いでの意見等】

①地区の現状はどうか(元気が・・・)

- 自治公民館も地区公民館も活発に活動している。
- 公民館活動に若い人を取り込んだものが行われている。
- 社公民館から発信されるものが増え、事業も増えた。
- 祭りもあって元気がある。
- ◆役員のみならず手が足りない。(高齢化)

②学校の現状について(児童が・・・)

- 落ち着いて学習に取り組んでいる。
- あいさつも良く、素直な受け答えが出来ている。
- 学校生活を楽しんでいる。
- ◆ややおとなしい面もある。
- ◆他校の子は積極的に司会をしたり発言する姿がある。

③小学校適正配置について気がかりな点について

- ・この会の参加者が少ないことが気がかり。
- ・この問題が長引いて保護者の意識も薄れてきている。(自分の子どもは卒業するからとか)
- ・気がかりなことは何もない。
- ・統合しても大規模校にはならない。(中規模校)

[人間関係]

- ・北谷小、高城小の子ども達が心配。(遠慮することなく共に学んでほしい)
- ・1年生交流を実施したが、意外と社小の児童の方が積極性に欠けていた。
- ・大規模、小規模関係なく交流の場を持つと良いと思った。
- ・高学年になると恥ずかしさも出てくるので、低学年の時から交流をする方が良い。

[地域の衰退化]

- ・登下校のスクールバスを心配する。放課後活動をする時はどうするのか？
→関金小学校の場合も、行事に合わせてスクールバスを運行しているので、同じように考えていただきたい。登校出発時間もスクールバスになったことで、家を出る時間にゆとりが出来ている。

④解決する手がかりについて（①～③の課題・問題点を解決する方法など）

- ・地域の反対（衰退化）をどうにかしてフォローしないといけない。
- ・参観日に合わせて、こういう場を設定すると保護者の参加も増えるのではないか。
- ・統合して人数が多くなり、いろいろなことが学べる。（特に人間関係）
- ・家族的な関係も良いが、多くの中でコミュニケーションを取りながら切磋琢磨することが大切。
- ・保護者は賛成が多い。

⑤小学校適正配置協議会で話し合うべき内容

- ・地域の皆さんに周知してもらおう対策が必要である。
- ・子どものメリットを洗い出して全面に出す。
- ・地域住民の意見を吸いあげる。
- ・社地区の思いだけを吸いあげれば良いのか、他地区のことも考えた対等な統合を社地区住民に理解してもらおう必要がある。（吸収統合ではないということ）

その他

- ・子ども同士は慣れるのが早いので問題はないが、保護者同士の交流が必要になる。
- ・小中一貫校にすれば良い。中学校3校案で小学校適正配置と一緒に考えてほしい。
- ・学童はどうするのか。みんなが社小の学童に入るのか。
→旧山守小は要望のとおり、隣接する体育館の一部を借りて放課後児童クラブに通っている。

(4) グループのまとめ発表

(5) 閉会

- 5 アンケートでの感想、意見等（回収22名） 【別紙】
将来のくらし【社地区】を考える（回収18名） 【別紙】